



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社トランスジェニック  
コード番号 2342 URL <https://www.transgenic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,542	17.3	134	91.6	204	86.7	54	94.4
2022年3月期第2四半期	6,702	43.2	1,602		1,540		981	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 66百万円 ( 93.1% ) 2022年3月期第2四半期 972百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.26	
2022年3月期第2四半期	56.56	56.40

(注) 2022年3月期第2四半期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため「-」と記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	10,660	6,617	60.8	384.57
2022年3月期	10,440	6,636	62.6	388.43

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,482百万円 2022年3月期 6,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		6.00	6.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	8.6	550	70.1	500	72.5	330	82.4	19.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	16,999,141 株	2022年3月期	17,369,141 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	141,422 株	2022年3月期	551,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	16,829,960 株	2022年3月期2Q	17,360,255 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対するワクチン接種普及等により、一部経済回復の動きもありましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、進行する円安及び世界情勢の悪化等による急激な原材料費の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しています。

このような中で、当社グループの売上は、創薬支援事業において、2022年1月における株式会社ジェネティックラボの全株式の譲渡によるPCR検査の受託売上の減少はありましたが、一方で、豊富な受注実績を背景に主力の非臨床試験分野での売上は順調に推移いたしました。また、投資・コンサルティング事業においては、前期にグループに加入した子会社の売上が貢献し増収となったものの、急激な円安の進行などが海外からの調達が必要基盤であるグループ会社の利益を圧迫する原因となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、5,542,343千円（前年同期比17.3%減）となり、営業利益につきましては134,775千円の利益（前年同期比91.6%減）となりました。経常利益につきましては、保険解約返戻金等の営業外収益172,076千円を計上した一方、買収関連費用等の営業外費用102,543千円を計上した結果、204,309千円の利益（前年同期比86.7%減）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、「法人税、住民税及び事業税」8,164千円、法人税等調整額93,864千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失367千円を計上した結果、54,891千円の利益（前年同期比94.4%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を変更し、従来の「TGBS事業」を「投資・コンサルティング事業」としております。

#### ① 創薬支援事業

当事業においては、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスを行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、2022年1月に株式会社ジェネティックラボの全株式を譲渡したことにより、新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査の受託売上を含む当社が営んでいた診断解析事業の売上高相対分が減少いたしました。同事業を除いた売上高は前年同期比38.7%増と確実に伸長しております。

子会社である株式会社新薬リサーチセンターにおけるサルやブタなどの大動物試験の受注が底堅く、株式会社安評センターにおいても海外からの遺伝毒性試験や大動物試験などの受注が活発化するなど投資の成果が着実に進捗しております。加えて、2021年12月末に連結子会社化した株式会社ルナパス毒性病理研究所の病理ピアレビュー業務も堅調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,268,404千円（前年同期比58.9%減）、営業損益につきましても153,476千円（前年同期比90.3%減）となっております。診断解析事業を除く前年同期比については、売上高は354,070千円の増収（38.7%増）、営業損益につきましても206,338千円の増益となっております。

#### ② 投資・コンサルティング事業

当事業においては、M&Aによる新規事業の推進と幅広い分野における事業承継及び事業再生分野に係る助言・支援サービスを行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、2021年9月末に連結子会社化した株式会社ホープの売上貢献により、当事業は前年同期比で増収となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高による消費低迷によりEC事業を行うグループ会社の業績の伸びが鈍化しており、また、世界情勢の悪化や各国の金利政策を背景とした急速な円安が、輸入調達が基盤となるグループ会社の利益率を圧迫することとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,276,076千円（前年同期比18.0%増）となりましたが、営業損益につきましては92,063千円（前年同期比21.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,112,101千円となり、前連結会計年度末に比べ597,740千円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が535,540千円増加した一方、現金及び預金が1,089,858千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,547,963千円となり、前連結会計年度末に比べ817,095千円増加いたしました。これは主に、子会社株式の取得に伴いのれんが257,176千円、繰延税金資産等のその他資産が329,739千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,020,584千円となり、前連結会計年度末に比べ361,160千円増加いたしました。これは主に、買掛金が247,260千円、未払金が251,153千円、短期借入金が400,000千円それぞれ増加した一方、未払法人税等が277,031千円、前受金が175,307千円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,021,993千円となり前連結会計年度末に比べ122,510千円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済に伴う減少113,456千円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,617,487千円となり、前連結会計年度末に比べ19,294千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を54,891千円計上し、100,906千円の剰余金の配当を行ったことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	882,968	△695,814	△1,578,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,850	△600,814	△362,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,229	64,920	385,149
フリー・キャッシュ・フロー(注)	645,117	△1,296,628	△1,941,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,354,489	3,394,665	40,175

(注) 営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは695,814千円の支出となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益156,552千円の計上による増加、棚卸資産の増加額533,459千円及び法人税等の支払額291,364千円による減少であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは600,814千円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出152,271千円、子会社株式の取得による支出692,193千円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは64,920千円の収入となりました。主な内訳は、短期借入金の増加400,000千円、長期借入金の返済による支出212,919千円及び配当金の支払額98,531千円による減少であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの創薬支援事業セグメントの売上高については季節的変動が著しく、下半期(特に第4四半期)に売上が集中する傾向にあります。なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,542,343千円(2023年3月期通期の連結業績予想売上高の48.2%)であり、概ね予測通り推移しております。

このため、現時点におきましては2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,618,521	3,528,663
受取手形、売掛金及び契約資産	894,115	892,930
有価証券	5,955	—
商品及び製品	1,024,229	1,559,769
仕掛品	638,811	664,746
原材料及び貯蔵品	51,862	79,551
その他	477,639	387,841
貸倒引当金	△1,294	△1,401
流動資産合計	7,709,841	7,112,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,069,435	1,103,957
土地	812,230	905,846
その他(純額)	111,002	153,856
有形固定資産合計	1,992,668	2,163,659
無形固定資産		
のれん	365,266	622,443
その他	12,487	11,457
無形固定資産合計	377,754	633,900
投資その他の資産		
投資有価証券	109,791	170,009
その他	274,377	604,116
貸倒引当金	△23,722	△23,722
投資その他の資産合計	360,445	750,403
固定資産合計	2,730,868	3,547,963
資産合計	10,440,710	10,660,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,013	503,274
未払金	424,600	675,754
短期借入金	390,000	790,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	323,939	226,576
未払法人税等	299,464	22,432
前受金	775,539	600,232
賞与引当金	16,785	47,268
受注損失引当金	148	—
その他	158,932	141,046
流動負債合計	2,659,423	3,020,584
固定負債		
社債	151,000	144,000
長期借入金	880,560	767,104
長期未払金	43,697	35,630
退職給付に係る負債	24,762	38,698
その他	44,484	36,560
固定負債合計	1,144,504	1,021,993
負債合計	3,803,928	4,042,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	4,109,106	3,869,990
利益剰余金	2,657,874	2,611,859
自己株式	△300,325	△76,915
株主資本合計	6,516,656	6,454,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,066	1,814
為替換算調整勘定	14,851	26,191
その他の包括利益累計額合計	15,918	28,005
新株予約権	200	200
非支配株主持分	104,007	134,346
純資産合計	6,636,782	6,617,487
負債純資産合計	10,440,710	10,660,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,702,129	5,542,343
売上原価	4,138,139	4,430,836
売上総利益	2,563,989	1,111,507
販売費及び一般管理費	961,692	976,732
営業利益	1,602,297	134,775
営業外収益		
受取利息	437	378
為替差益	—	5,816
受取保険金	6,007	2,604
補助金収入	2,738	—
保険解約返戻金	—	155,376
その他	3,846	7,900
営業外収益合計	13,030	172,076
営業外費用		
支払利息	11,070	13,073
為替差損	7,385	—
買収関連費用	36,092	80,000
その他	19,792	9,469
営業外費用合計	74,340	102,543
経常利益	1,540,987	204,309
特別利益		
補助金収入	239,451	—
特別利益合計	239,451	—
特別損失		
減損損失	—	47,756
固定資産圧縮損	239,451	—
特別損失合計	239,451	47,756
税金等調整前四半期純利益	1,540,987	156,552
法人税、住民税及び事業税	587,555	8,164
法人税等調整額	△22,879	93,864
法人税等合計	564,676	102,028
四半期純利益	976,310	54,523
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,515	△367
親会社株主に帰属する四半期純利益	981,826	54,891



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	976,310	54,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,950	747
為替換算調整勘定	6,979	11,339
その他の包括利益合計	△3,970	12,087
四半期包括利益	972,339	66,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	977,854	66,978
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,514	△367

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,540,987	156,552
減価償却費	74,798	58,578
減損損失	—	47,756
のれん償却額	41,180	29,277
固定資産圧縮損	239,451	—
補助金収入	△239,451	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△404	106
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,743	30,483
受取利息及び受取配当金	△437	△378
保険解約返戻金	—	△155,376
支払利息	11,070	13,073
売上債権の増減額(△は増加)	△263,452	63,966
棚卸資産の増減額(△は増加)	△425,958	△533,459
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,399	181,969
未払金の増減額(△は減少)	△160,624	△156,848
前受金の増減額(△は減少)	169,081	△175,307
その他	48,756	37,783
小計	967,340	△401,821
利息及び配当金の受取額	95	188
利息の支払額	△11,073	△13,063
法人税等の支払額	△119,675	△291,364
法人税等の還付額	46,281	10,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	882,968	△695,814
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△9,000
有価証券の償還による収入	—	5,951
有形固定資産の取得による支出	△95,898	△152,271
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△135,657	△692,193
貸付金の回収による収入	690	94,733
保険積立金の解約による収入	—	155,376
その他	△6,985	△3,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,850	△600,814
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	△216,140	△7,000
短期借入金の増減額(△は減少)	85,000	400,000
長期借入れによる収入	220,000	—
長期借入金の返済による支出	△207,246	△212,919
リース債務の返済による支出	△8,553	△8,560
長期未払金の返済による支出	△65,139	△8,067
自己株式の取得による支出	△76,046	—
配当金の支払額	△52,103	△98,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,229	64,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△548	7,852
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	324,339	△1,223,856
現金及び現金同等物の期首残高	3,030,149	4,618,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,354,489	3,394,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2022年4月27日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月20日付で、自己株式370,000株の消却を実施いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ201,650千円減少しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,079,735	3,622,394	6,702,129	-	6,702,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,000	261	6,261	△6,261	-
計	3,085,735	3,622,655	6,708,390	△6,261	6,702,129
セグメント利益	1,582,507	116,579	1,699,086	△96,789	1,602,297

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,789千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,265,404	4,275,889	5,541,293	1,050	5,542,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000	187	3,187	△3,187	-
計	1,268,404	4,276,076	5,544,481	△2,137	5,542,343
セグメント利益	153,476	92,063	245,539	△110,763	134,775

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,813千円、各報告セグメントに含まれない収入1,050千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの名称等の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を変更し、従来の「TGBS事業」を「投資・コンサルティング事業」としております。また、投資・コンサルティング事業における「Eコマース事業」に限定しない幅広い分野における今後の事業展開を踏まえ、当該事業の内訳につきましては区分表示しないことといたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称並びに「創薬支援事業」及び「投資・コンサルティング事業」の2区分に基づき作成したものを開示しております。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

投資・コンサルティング事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において47,756千円であります。